



OUT THERE Itoshima 志摩園だより

2019. 10.31発行
社会福祉法人
志摩会
第65号

福岡県糸島市志摩久家2527番地2
TEL092-328-2121
E-mail shimakai@proof.ocn.ne.jp
<http://www.shimaen.or.jp>

特別養護老人ホーム志摩園
ショートステイ
デイサービス
ケアプラン
配食サービス

小規模多機能型居宅
介護

糸島市志摩地域包括
支援センター

地域貢献：オレンジ志縁隊・げんき志縁隊・せいかつ志縁隊、おでかけ志縁隊
まつり志縁隊・よか志縁隊、
たまり場岐志・桜野・姫島茶所、おこもりカフェ岐志浜



2019. 10. 27 わおん

明るさ、優しさ、心地よさのハーモニー

インドアにも霜降の後の小春日和がやってきたようでした。
親子の愛情の交わりを拝見したら、私たちが優しく、楽しい
気持ちになります。
これも互酬性の現れのひとつなのでしょう。

時代も スタイル を貫こう！！

今、志摩園夏祭りの今昔に思いを馳せ
この時期、地域の皆様をお招きする今
世紀！ 時代は変わってもここは伝
えて決意しました。

もありがとうございました



ドレスの職員司会者



ハナは勇壮に糸島農業高校太鼓部 様



JBミラクル 様
華麗なバトントワリングに
まばたきするのも惜しいほど



沖縄三線の音色と歌で爽やかな沖縄の夏をはこんでくれます… どうしてこんなに癒されるのか💖



後半は3mmit 様の
ヒップホップミッ
クスでスタート!



ハッピー



It's so cool !!



アーヤラピタ 様



トリのベリーダンスは圧巻でした

砂川様

れいわの時代 志摩園

令和元年8月3日

雨の心配が無用だった分
るゆとりがありました。こ
のスタイルになって四半
統として守らねばと改め

演芸にご出演の皆様



障がい者(児)の余暇支援

— 志摩会の新たな地域活動のメニューとして —

障がいがある子供さんや就労支援サービスのご利用者が休日等に自宅以外にも過ごせる場所や社会性を育めるような機会がないだろうか というご相談を志摩園が受けたことから動き始めました。

個人や家族の視点(立場)からだけでなく、地域、制度、仕事、社会などに関連づけて「障がい」が語られることが増えてきたことを実感する今、敢えて、未だ高齢者介護さえ完全に知っているわけでもない志摩園がどうして障がいがわかるだろうかと逡巡もありましたが未知の分野を勉強したいという欲求がわきあがり、よか志縁隊をスタートさせます。俯瞰すると私たちは、これまでも障がいに接点をもってきましたが、それは第三者に近い感覚であったように思います。今回のよか志縁隊は私たちが意思をもって、能動的に関わるところがこれまでと違うところです。

ゼロからとは言わないまでも1から障がいを学んでいきます。

余暇支援活動の

愛称は

わおんの内容

- ① 受付・(フリータイム)
- ② はじまりのあいさつ
- ③ 体操
- ④ きょうの遊び
- ⑤ かえりの挨拶

志摩会HP 地域活動 > 地域貢献活動 > よか志縁隊 でも随時情報をオープンしています



よか志縁隊

志摩園の6番目の“志縁隊”になります。

理学療法士、社会福祉士、介護福祉士、看護職員、ケアマネジャー、保育士等である有志職員が中心メンバーです。

また、サポーターとして市民ボランティアの参加も歓迎します。

☆ 活動日時

- ・ 毎月第4日曜日 13時30分～15時30分(2時間)

☆ 活動場所

- ・ 糸島市健康福祉センターふれあい 2階交流室

☆ 参加者等

ご家族の情報交換の場にもどうぞ

- ・ 市内在住の障がいのある人、保護者 (各自で来場できる方)
- ・ 料金は原則無料(飲み物は各自でご用意ください)

わおんの目標

年齢や障害の程度に関わりなく、楽しいと思ってもらえる時間になること、それが保護者の安楽にもつながれば、うれしいです。

手をつなぐ親の会、糸島市をはじめ、関係団体等にも教わりながら、工夫をこらしていきます。



10月27(日) 第1回 わおん の様子

遊びのメニューは粗大・微細運動を同時実施で、好きな活動を自由に選択してもらいました



子どもさんと保護者の皆様が30名以上参加下さいました



たくさん体を動かせば夜もぐっすり眠れるでしょう

つかみはパプリカダンス！やはり子どもから大人までみんなで踊れて最高です

子どもさんたちの笑顔といきいきした姿に私達も盛り上がりました。
ありがとう！！

第1回目を終え、少し手応えも感じとることができ、ひと安心。

《これからの予定》

11/24(日) 第2回 わおん みんなで楽器演奏

12/22(日) 第3回 わおん クリスマスだね！

1/26(日) 第4回 わおん むかしあそび

本年度内の開催分は、試しの期間の位置づけです。その後も、ご本人やご家族及び関係者と連携して、適正なサービスを実施するための意思を企画運営に反映するよう努めます。

特別支援学校生徒さんの実習受入

志摩園では、今年度から初めて、県内3校の特別支援学校高等部の2年生から1年生の延6名の生徒さんの施設実習の受入を始めました。それもいよいよ、11月が今年度最後の受入となります。実習は主に園内の清掃活動の体験が多かったのですが、欠席することなく、全員計画どおりに完結しました。



休憩時間のアイスcreamも格別

私どもの反省点は、実習プログラム、指導内容、指導方法などを特別な準備なく、ほぼ一般の実習イメージをもって受入していた点です。

上述の余暇支援活動に関連して、障がいのある方とのコミュニケーション方法他、専門的支援技法を少し学び始めて、来年度以降はもっと生徒さんたちにとって安心して行動できる環境に改善していきたいと思います。

認知症サポーター養成講座

(オレンジ志縁隊)



9/18 開催
引津小学校4年生



9/25 開催
可也小学校4年生



10/3 開催 志摩中学校1年生



小学生時代の認知症サポーター養成講座と中学生用の内容がうまくシンクロしていることを実感。先生も協力下さり認知症劇のロールプレイもバッチリでした。



第91回

8/4

地域合同七夕まつり

短冊の
願い
事は...

おにぎりとソーメン
の会食も楽しいもの。
食事の後子どもさん
の興味を惹くイベ
ントが続きました

第92回

8/17 フラダンス&頭の体操・クイズ



フラ・ハナ・アロハ野村先生
のフラ指導。“アロハ・ウク
レレ”の振りをマスター!!
続くお笑い頭の体操・クイ
ズは答えを聞いて失笑、爆笑の連続。明るいカフェです



第93回

9/7 第4回 敬老寄席 (会場 海徳寺様)



勘春さん



すず柑さん



内浜落語会から粗忽家勘春
さんとすず柑さんがご出演。
すず柑さんの三味線演唱に
合わせ、客席の皆さんも「祇
園小唄」を唄いました。勘春
さんの落語の粹にスカッと
爽快になりました

おこもりカフェ岐志浜

おこもりカフェ岐志浜は、向こう3ヶ月ごとの
“週替り”メニューを用意して皆様のご来店を
お待ちしております

9/21

第94回

紙芝居・お話し・歌



おはなし



絵本読み聞かせ



うた



紙芝居

ぶんぶく茶釜、
棚から牡丹餅、くわす女房とお彼岸
にぴったりのラインナップ。その表現力に虜
になります。後は写仏にぼた餅でした

第95回

10/5 フラダンス&クラフト



今回は“ハナミズ
キ”で練習。歌の優
しさと野村先生の
温かいご指導で心
地よくなります



二部は“志摩の
秋”をお題にちぎ
り絵の制作。作品は校区文化祭に出品しました

第96回

10/19 流行歌と振り返る
あの頃のわたし

戦後から平成を歌と出
来事で振り返り。「やっぱ
り昔の歌は良い」の声。
それぞれのあの頃が懐
かしいやらおかしいや
らで抱腹絶倒。

連載
企画

いろんな職種から見た 介護の仕事 (第21回)

職員リレー



志摩会に働く170人余りの職員の皆さんに仕事や職場、仲間への思いなどを語ってもらっています …

丁寧に教えていただき、9年目を迎えることができました



松前
(特養 調理員)

かと思いがわきあがったタイミングに、志摩園に入職しました。
◆食事形態が様々で、初めは何が何だかわからず、また覚えも動作も遅く、先輩方には多々迷惑をおかけしたと思います。今は一人ひとりの食事の提供の仕方がわかる様になり、メニューによっても仕事の流れが変わるなか、配膳の入れ間違いが無いよう気をつけています。
◆志摩園で働いて、家事の効率を考えるようになり、家族から

「家事が前より早くなったね」と言われるようになりました。これも志摩園のおかげです。
◆休日は高校から続けているバトミントンで汗を流します。スマッシュが決まるとスカッとリフレッシュできます。スポーツの汗は食器洗浄室の汗とは違いますね(笑)。息子も今年社会人になり、これからは両親や夫婦の為、未来の孫のため働きたいと思っています。

◆家族が志摩園を利用しています。面会の度、介護職員の働く姿を見かけるうちに、私も人の為に何かできることがないだろう

育児にも少し手が離れてきたため、仕事の復帰を決断しました



水城
(特養 看護師)

◆祖父母とも生活していましたので、高齢者に関わりたく復帰先は老人ホームを選びました。
◆長いブランクがあり、知識、スキルも劣る私に、みなさん優しく接してくれて、また扶養の範囲内での就労希望も叶えていただき、4年が経ちました。
◆中学と小学生の二人の子供がサッカーをやっています。小さい時はピアノや水泳も習っていましたが、今はサッカー中心の生活を送っています。

それぞれ、中学生のクラブチーム、地域の小学生のチームに所属していますので、休日は専ら夫婦で子供のサッカー試合観戦。私は日々、お肌の大敵紫外線と格闘しています。
子供の“ガンバリ”次第でその日の夕食はお肉料理にもなります。やはり食べる量は半端ないですね。親としてそれはそれでうれしいものです。
家庭菜園も楽しんでいます。

◆看護学校卒業後すぐに病院に勤めましたが、結婚を機に県外に転出、その間、約10年間専業主婦でした。

ご利用者からも日々、逞しいパワーや温かいお言葉を頂いております



山下
(特養 介護福祉士)

仕事でありましたが、介護はそうはいかず、初めは戸惑いました。そんな時にもよくお声をかけてくださる諸先輩のおかげで4年が経ち、毎日楽しく志摩園ライフを過ごさせていただいています。
◆映画や海外ドラマが大好きでジャンルを問わず色々見ます。韓流ドラマにはまって韓国語のヒアリングができるようになりました。機会があれば撮影現場の聖地巡礼の旅に出たいですね。
◆ウォーキングデッドやゲーム

オブスローンズ等話題の海外ドラマの最新章が続々配信されて、暇を見つけてはテレビの前に座るのが楽しみです。
◆映画は、洋画も邦画も好きですが、バーフバリを見て、インド映画の破天荒な面白さを知ってしまい、新たな扉を開けてしまいました！どんなに気分が落ち込んでいてもテンションが一気に上昇します。踊るマハラジャもお勧めです。

◆以前は他の業種で事務職をしていました。その頃は在庫管理や利益計算などパソコンの前から離れることが無く、マイペースの



百歳の賀

吉村フジノ様



十月一日
ビブス返還式



Info

国、県、市からお祝いの記念品も



職員手作り

お祝いの会にご家族も参加され、笑顔あふれるひと時を過ごされました。

4月1日の新人採用辞令交付から半年、今年も一人立ちの儀式ができて(´▽`)ホッとなりました。



調理員 友池
介護職員 植村

たからんたま収穫祭のご案内

6月1日のさなぼりから、およそ4か月。9月下旬に稲刈りを、その後、脱穀、精米と続きいよいよ**収穫祭**が近づきました。

収穫祭開催日：令和元年11月16日(土)

時 間：午前10時30分から14時頃

会 場：たからんたま志摩広場

お問合せ：たからんたま志摩 ☎092-330-5003



まるでパワーストーンの如く、ご利益にあやかりたくなります

【編集後記】 障がいのある方の余暇活動の支援は、支援する人さえ確保できればそれ程難しいことではないだろう…と甘く見ていたのが間違いでした。そもそも障がいのある人(重度の人は別として)の、余暇の過ごし方に第三者が介入してよいものかどうか疑問に思ったこともあり。個人的には「何もしない」時間を過ごしたい憧れがあるからです。

それでも「余暇」とはどういうものなのか、ネットでいくつもの研究報告等に触れ、障がいのある方の余暇支援は、社会生活を営む上で大切なものなんだと理解が進むほど、責任の重さも感じています。

発達障害の支援技法を調べていくと、「応用行動分析(ABA)」に出会いました。初めて目にする用語が多すぎて、言葉を見聞きするだけでは何のことか全く想像が付きません。

そのうちに、あることに気づきました。それは私たちは普段の日常生活の中でABAを応用されているということです。例えば、ABAの“トークンシステム”。私たちには飲食や買い物でそのお店のポイントを貯めるとその数に応じて割引などが受けられるポイントシステムでお馴染みです。世の中の仕組みの根拠の一部がわかったことは気分が良いものですが、反対に心理を読まれて悔しいかも。

9月1日糸島市手をつなぐ親の会の創立50周年式典で樗木会長のご挨拶、その後の記念講演を聞き、腑に落ちることがありました。長年、ほぼ高齢者サービスを専門にしてきた私たちにはすれば障がいのあるご本人とご家族の目線で社会やもっと身近な周囲を見渡せば、いろいろ困難や問題が存在することが少しずつ見えてきました。

この見える景色の違いを行ったり来たりしつつ、それぞれのノウハウを駆使して、連続する生活の中の一部である、「余暇」の時間、小さな成長と安心を感じて頂けるアレンジを加えて、そろりそろりと漕ぎ出します。



(A・K)